

第27回静岡大会を終えて

日本デイケア学会第27回年次大会静岡大会 大会長 大嶋 正浩
(医療法人社団至空会 メンタルクリニック・ダダ 院長)

皆様には大変お世話になりました。昨年の9月から、間もなく半年がたとうとしております。私自身からもスタッフからも記憶は薄れてきております。ようやく第8波も終盤に近付いており、コロナの影響下での学会も終わり、28回からは正常化が期待されます。

コロナ下での学会という制限のもとに、何ができるか考えました。計画初期の時期は、コロナのパンデミックがどういう状況になるか読めない時期でした。自分たちの体力を考えると、直前になっての臨機応変な体制変更は難しいと思い、安全策のオンラインを選ばせていただきました。デイケア学会らしいオンラインというテーマのもとに、スタッフ一同考えたのが、オンラインで全国のデイケアをつないでしまおう、オンライン上でデイケア活動を実践し盛り上げてしまおう、ということでした。全国のデイケアメンバーさんがつながること、自分たちだけではなく全国に同じようにデイケアを生活の一部としている仲間がいる、ということが素敵ではないかと考えました。つながるということは人が生きていくうえで最も基本的な存在の確認行為だと思います。コロナの流行がないとしても、リアルでつながることが不得手となった現代社会においては様々な手段でつながる工夫が必要でしょう。頭の柔らかい子どもや若者たちはネット空間上で自由に活動しています。それがすべてになってはいけませんが、利用するのもいいかと思い、今回試みました。音楽や芸術作品の紹介、ダンスの披露は想像がつかしましたが、ク

イズやビンゴ、ギネス大会などはうまくできるか不安でした。若いスタッフは、ノリノリで突き進んでおり、やはり年の差もあるのかと感じた次第です。

デイケア学会のテーマは「人と地域を癒してそだてる時代へ デイケアこそ医療と地域のインターフェイス ～コロナからのV字回復 笑顔と笑いでつながろう～」とさせていただきます。私は児童精神科を専門としていますが、地域や子育ての崩壊は皆様の想像以上にひどいものであり、加速度的に広がっています。年々親御さんの子どもへの興味は減り、効率のいいわかりやすい子ども(いうことをきいて理屈が通る子ども)を目指してのみ頑張っています。子どものこころは育たず、その中で必然的に発達障害の顕在化も加速度的に起こっています。それらからの2次障害として成人の精神障害や精神不調が生まれています。拡大再生産と言っている状況です。

そこに少しでもストップをかけることが、私のテーマです。デイケアは、そのためのとても頼りになる重要なツールです。地域に働きかけ、地域とつながる様々な機能を包含することができます。期待を込め大会を開かせていただきました。発表してくださった先生方には十分な環境を用意できなかったと思いますが、これからの地域のためにとても示唆に富んだお話をいただきました。感謝とともにお礼の文章とさせていただきます。

第 27 回年次大会静岡大会に携わって

飯田 妙子

私は現在大学教員をしておりますが、以前は精神科デイケアを有する病院やクリニックに勤務しており、その繋がりから今回、第 27 回年次大会に会場運営として携わらせていただきました。学会当日までのコロナの感染状況が予測できない中、中心となる実行委員の皆様が「コロナ禍で人との距離を取らざるを得ない今だからこそ、人が繋がり、温かい気持ちを、デイケアの良さを、改めて感じられる学会にしたい」という想いを込めてプログラムを検討されている様子を度々目の当たりにしました。

オンラインの学会はいつでもどこでも参加できるメリットがある一方で、相手の反応が見えにくく、発信側の一方通行になっているような感覚に陥ることがあり、気持ちの通った「交流」が持ちにくい一面があります。もちろん、内容によってはそのような形が適している場合もありますが、今回のデイケア学会の企画にあった参加型プログラムなどは、オンラインではあるけれども対面でやっているような臨場感をそれぞれの場所で感じられるよう、細やかな工夫や準備が施されていました。私は講演・口述発

表の会場を担当していたので参加型プログラムの様子は少ししか拝見できませんでしたが、感染対策のため開放された扉の向こうから歓声が漏れ聞こえ、とても楽しそうな様子が伝わってきました。これまで学会や研修会の運営を何度か担当したことがあり、貴重な講演や発表を聞くことができるのが運営の特権だと感じていましたが、今回のように「楽しさや元気」をもらえた学会は初めてかもしれません。

当日の会場内にも細やかな配慮が溢れていて、初めてデイケア学会に参加し運営を担当された方が「手作りで人の温かみを感じられる、とても素敵な学会ですね」と感想を言ってくださったことがとても嬉しかったです。

コロナ禍の制約がある中で「できないこと」を考えるのは容易いことですが、それで終わることなく、今できることは何か、模索し、柔軟に考えていくこと、人と繋がることで生まれる新しい可能性への挑戦の大切さを感じた学会になりました。(聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部作業療法学科・作業療法士)

日本デイケア学会第 27 回静岡大会の舞台裏

池田 千穂

「人と地域を癒して育てる時代へ デイケアこそ医療と地域のインターフェイス ～コロナからの V 字回復 笑顔と笑いでつながろう～」をテーマに、去る 2022 年 9 月 3 日・4 日、第 27 回静岡大会がオンラインで実施されました。実行委員メンバーの一人として今大会に携わらせていただいた感想とその舞台裏を紹介します。

2022 年から遡ること 2 年前の 2020 年に実行委員会が立ち上がりましたが、コロナの蔓延により開催が一旦延期。2021 年 8 月に開催が決定し再度実行委員会が立ち上げられ準備が進められました。実行委員の多くは医療現場の職員の方で、現場をもちながら準備を進められ

るご苦労を感じる一方、デイケアへの想いがつまった企画となりました。実際、静岡大会は非常にユニークであたたかい大会となりました。大会 1 日目では、全国のデイケア利用者さんが創作された絵画や音楽、ダンス作品などがオンラインで紹介されました。また、全国のデイケアと学会配信会場をオンラインでつないだ形でプログラムが実施され、会場はまさに大会テーマである「笑顔と笑い」が溢れていました。私は B 会場のパソコン操作を担当しましたが、どの企画も大変見応えがあり、画面越しであっても、登壇者の先生方の熱気が伝わってくるものばかりでした。

また、休憩時間には全国から寄せられたご当地スイーツの差し入れ、大会終了後には、大会長の大嶋先生、実行委員長の山田さんから、直筆のお礼のお手紙をいただくなど、みなさんの暖かい心遣いや、つながりを感じるとても素敵な大会でした。

コロナの蔓延により、人と人との繋がりをもちにくくな

った私たちにとって、人が人と、人が地域と繋がっていくための接点（インターフェイス）をもつことの重要性を感じています。今大会を通して「まさにその最前線は精神科デイケアにある」そう感じられる大会でした。このような機会をつくっていただきありがとうございます。

（浜松市精神保健福祉センター・精神保健福祉士）

第27回静岡大会に参加して オンライン開催だからこそ感じた全国デイケアの力

山田 知佳

今回のデイケア学会開催に関しては、多くの壁がありました。

新型コロナウイルスの影響下での大会開催。話し合いを重ね、テーマが「人と地域を癒して育てる時代へ デイケアこそ医療と地域のインターフェイス～コロナからのV字回復 笑顔と笑いでつながろう～」に決まりました。

オンライン開催を逆手に取って、この形だからこそできる事・全国のデイケアが元気になって互いに励みになる事・皆で作上げる様な大会にしたいと実行委員内で話し合い、県内実行委員会・演者・参加者の皆様と連絡を取りながら準備していきました。

2日間静岡県浜松市にある「アクトシティ浜松コンgresセンター4階」から全国をつないで大会配信を行いました。オンライン開催の為、来場するのは県内実行委員のみ。配信会場4会場+最終確認1会場の計5会場を総勢84名の実行委員で運営を行いました。1日目は講演・発表に加え、デイケアのメンバーさんが参加する合同レクリエーションも行いました。合同レクリエーションの会場

では、実行委員が全員仮装をし、掛け声を出し合いながら運営を行っていました。他の会場に盛り上がっている声が入らないか心配した程の盛り上がりでした。1日目2日目通して、講演・発表会場・最終確認会場では、マニュアルを元に担当者同士声を掛け合いながら配信を行っていました。実は、会場には、差し入れや全国のお菓子を置き全国の味覚を体験しながら運営を行っていました。

オンライン開催という事で、どの様な形になるか終始ドキドキした大会運営でした。画面上でしたが全国の皆様の顔を見てお話ができ、メンバーさんとも盛り上がれ、県内でも会えなかった実行委員の方々と運営ができ、とても充実した2日間になりました。皆様から頂いた温かい言葉や笑顔がとても嬉しく、運営の励みになりました。

最後になりましたが、この様な大会運営の貴重な機会を頂き、また全国の皆様とつながっていく機会を頂いた事に感謝申し上げます。今後も全国のデイケアが発展し、地域とつながっていく事を願っております。

（メンタルクリニック・ダダ・精神保健福祉士）

日本デイケア学会第28回年次大会福岡大会について

会 期 2024年3月16日-17日 **現地開催**
会 場 電気ビルみらいホール・カンファレンス（福岡市中央区渡辺通2-1-82）
大会長 川崎 弘詔（福岡大学医学部精神医学教室）
事務局長 飯田 仁志（福岡大学医学部精神医学教室）

※詳しいことが決まり次第ホームページ、次号のニュースでご案内いたします。

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、高齢者デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

入会申込書

申込日 令和 年 月 日

(正会員用)

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
職種		所属先名称 (勤務先)						
所属先所在地	〒		電話番号	()				

(団体会員用)

団体名		代表者						
所在地	〒							
種別		TEL	()	FAX	()			

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ